

江戸曲独楽 ショー



■ 江戸曲独楽（えどきょくごま） 三増紋右衛門（みますもんえもん）

一つ一つが職人手作りの「工芸品」と言える程の道具を使う、テレビでもあまり見られない珍しい曲芸。

★日本伝統の曲芸 『江戸曲独楽』。
全国に数人しかいない専門の職人さん手作りの独楽を使った曲芸です。

「回って立つ」ところから「金回りが良くなる」「早く1人立ちできる」、芯棒が通っている所から「辛抱が良くなる」など、演技の良い意味がございます。

日本に住んでいても滅多に見られない珍しい伝統芸能『江戸曲独楽』を、どうぞお楽しみ下さいませ！！

■ 演目例

- ・ 小手調べ ：
直径30cmもある大独楽を色々に回し分けて御挨拶。
- ・ 末広 ：
扇子の上での独楽回し。
末広とは扇子の別名で、古来より「子孫繁栄」を表す目出度いシンボルとされています。
- ・ 輪抜け ：
羽子板の上で跳ねる独楽が、輪をくぐります。
受験などの難関を上手く「通る」おまじないとして。
- ・ 糸渡し ：
数mに張った細い糸を独楽が渡ります（お客様に御参加いただけます）。
- ・ 刃渡し ：
日本刀の刃の上を独楽が渡ります。
最後は「切っ先留め」。
- ・ 風車 ：
大独楽が竿の先で逆立ち。段々傾いて行くにつれ、回転のスピードが上がっていきます。
- ・ 五色の独楽 ：
五つの小さな独楽を、**念力(?)**で操るコミカルな演目です。



活動記録

- ・ 愛知万博出演
- ・ 「NHK紅白歌合戦」
- ・ 「お昼ですよ！ふれあいホール」
- ・ 99～05年「大道芸ワールドカップin静岡」
- ・ 大手デパート、ショッピングセンター
- ・ 有名ホテル、学校、福祉施設など出演多数。



東京都在住 》 全国対応